

## 令和 4 年度予算と主な取組について

## 1 令和 4 年度予算について

令和 4 年度予算につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しない、通常期の予算編成を基本としながら、陽性患者を受け入れる際の特殊勤務手当や、医療従事者が使用するホテル借上料など、必要なコロナ対策経費を計上した予算編成としています。

## (1) 収支について

区分	項目	令和 4 年度予算 (千円)	令和 3 年度予算 (千円)	増 減
収入	経常収益	7,095,497	6,843,359	252,138
	医業収益	6,300,446	6,167,898	132,548
	うち入院収益	3,656,034	3,537,791	118,243
	うち外来収益	1,853,810	1,849,310	4,500
	医業外収益	795,051	675,461	119,590
支出	経常費用	7,191,853	6,949,983	241,870
	医業費用	6,842,508	6,605,811	236,697
	うち職員給与費	3,528,665	3,459,886	68,779
	うち材料費	1,416,071	1,383,096	32,975
	うち経費	1,354,750	1,315,629	39,121
	医業外費用	349,345	344,172	5,173
<b>経常損益</b>		<b>△96,356</b>	<b>△106,624</b>	<b>10,268</b>

収入・支出別に主な項目を見ますと、収入においては、医業収益のうち入院収益で 36 億 5,603 万 4 千円、外来収益で 18 億 5,381 万円、医業外収益では 7 億 9,505 万 1 千円を見込み、経常収益は 70 億 9,549 万 7 千円、前年度より 2 億 5,213 万 8 千円の増を見込んでいます。

前年度より増となった主な要因としては、医業収益において、入院患者数の増加を見込むとともに、救急・高度医療を推進することにより、患者 1 人 1 日当たりの診療収入（入院・外来）の増加を見込んだほか、医業外収益においては、新型コロナウイルス感染症患者等の病床確保に伴う、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金の増加を見込んだことなどによるものです。

また、支出においては、医業費用のうち職員給与費で 35 億 2,866 万 5 千円、材料費で 14 億 1,607 万 1 千円、経費で 13 億 5,475 万円、医業外費用では 3 億 4,934 万 5 千円を見込み、経常費用は 71 億 9,185 万 3 千円、前年度より 2 億 4,187 万円の増を見込んでいます。

前年度より増となった主な要因としては、職員給与費において、常勤医と嘱託医を合わせた医師数に加え、医療技術員や研修医が増加したことのほか、経費においては、新型コロナウイルス感染症の検査件数の増加に係る手数料の増や、原油価格高騰に伴う光熱水費及び燃

料費の増を見込んだことなどによるものです。

この結果、経常損益は、前年度より1,026万8千円の収支改善となる、9,635万6千円の損失（赤字）を見込んでいます。

## （2）主要な経営指標及び医療機能等指標について

項 目	令和4年度 予算	令和3年度 予算	増 減
経営指標			
経常収支比率（%）	98.7	98.5	0.2
医業収支比率（%）	92.1	93.4	△1.3
病床利用率（%）	80.2	79.5	0.7
1日平均患者数（入院）（人）	152.3	151.1	1.2
1日平均患者数（外来）（人）	641.2	650.3	△9.1
職員給与費対医業収益比率（%）	56.0	49.7	6.3
材料費対医業収益比率（%）	22.5	22.4	0.1
患者1人1日当たり診療収入（入院）（円）	65,767	64,146	1,621
患者1人1日当たり診療収入（外来）（円）	11,898	11,752	146
医療機能等指標			
常勤医師数（人）	37	37	0
紹介率（%）	31.3	31.3	0.0
逆紹介率（%）	27.4	27.4	0.0

主要な経営指標及び医療機能等指標では、「経常収支比率」、「病床利用率」、「1日平均患者数（入院）」、「患者1人1日当たり診療収入（入院・外来）」、「常勤医師数」、「紹介率」、「逆紹介率」の8項目において、いずれも前年度以上の数値となっていますが、「医業収支比率」、「1日平均患者数（外来）」、「職員給与費対医業収益比率」、「材料費対医業収益比率」の4項目においては、いずれも前年度を下回る数値となっています。

前年度を下回った主な要因として、「医業収支比率」については、入院・外来収益の増加により医業収益が増となったものの、職員給与費や材料費の増加により医業費用がそれを上回る増となったことによるものです。

「1日平均患者数（外来）」については、これまでの患者動向と新型コロナウイルス感染症拡大に伴う患者の受診控えや、逆紹介数の増など地域との医療連携がより一層図られることによる患者数の減を見込んでいます。

「職員給与費対医業収益比率」及び「材料費対医業収益比率」については、医師に加え、医療技術員や研修医が増加したことなどによる職員給与費の増、抗がん剤などの高額な医薬品の使用量増加に伴う材料費の増により、前年度に比べ医業収益に対する職員給与費、材料費の割合がそれぞれ増加したことによるものです。

## 2 令和4年度の主な取組について

### (1) 医師及び医療スタッフ等の確保

診療体制の充実を図るため、医師数の維持及び定着に取り組むとともに、増員に向けて大学医局への派遣要請活動や医師専門人材紹介システム（成果報酬型）の活用等を積極的に行います。

なお、正職員数は全体で313名を予定しており、内訳としては、医師37名（±0名）、看護師193名（▲3名）、技術員49名（+1名）、事務員34名（±0名）となっています。

#### 〈臨床研修医の確保〉

基幹型臨床研修病院として、医育大学の初期臨床研修医を受け入れます。

- ・初期臨床研修医5名を受入 12か月間：1年目2名、2年目2名  
4か月間：2年目1名

#### ■ 診療科別医師数の推移〔各年度10月1日現在〕

（単位：人）

診療科	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
内科	9	7	6	5	5	5
循環器科	4	4	4	4	5	5
消化器科	4	4	3	3	3	3
小児科	4	4	4	3	4	4
外科	4	4	4	5	5	3
脳神経外科	2	2	2	2	2	2
整形外科	3	3	3	3	3	3
産婦人科	4	4	3	3	3	3
耳鼻咽喉科	1	1	1	1	1	1
眼科	2	2	2	2	1	1
皮膚科	2	2	2	2	2	2
泌尿器科	2	2	2	2	2	2
麻酔科	2	2	2	1	2	1
合計	43	41	38	36	38	35

※内 科：非常勤嘱託医1名（週5日勤務） 循環器科：非常勤嘱託医1名（週5日勤務）  
消化器科：非常勤嘱託医1名（週5日勤務） 小児科：非常勤嘱託医1名（週5日勤務）  
産婦人科：非常勤嘱託医2名（週5日勤務）

## (2) 高度医療機器をはじめとする医療機器等の計画的な整備

医療技術の進歩や医療ニーズの高度化・多様化に対応するため、医療機器等の整備には、毎年1億円～2億円程度の費用を投入しています。

医療機器の購入にあたっては、基幹病院としての役割などを踏まえ、緊急性や重要性、安全性などを考慮し、計画的に整備します。

- ・医療機器等整備事業費 110,000千円〔対前年度比 △670,000千円〕

### ■主な購入予定機器

診療科名	名称	区分	金額
消化器科	上部消化管ビデオスコープ	【更新】	12,500千円
整形外科	人工膝関節手術器械	【新規】	4,972千円
整形外科	超音波診断装置	【追加】	6,160千円
皮膚科	紫外線治療器 ※	【更新】	9,900千円
泌尿器科	電気手術装置 ※	【更新】	3,742千円
臨床検査科	自動採血管準備システム	【更新】	12,870千円
臨床工学科	輸液ポンプ (70台)	【更新】	10,780千円
臨床工学科	シリンジポンプ (25台)	【更新】	3,850千円
手術室	LED無影灯	【更新】	6,319千円
医事課	イントラネット用パソコン (58台)	【更新】	12,754千円

※再編関連訓練移転等交付金充当事業 (2品目)

総事業費 : 13,642千円 交付金 : 10,000千円 (充当率 73.3%)

### (3) 病院施設の大規模改修及び省エネルギー対策の推進

#### ① 施設の大規模改修

病院施設は、平成14年3月の竣工から約20年が経過し、病院施設全体に経年劣化等による機能低下が生じていることから、医療機能や療養環境を維持していくため、大規模な施設・設備の改修が必要となっています。

このことから、平成23年度に策定した「中長期修繕計画」を見直し、平成30年度から令和4年度までの5年間に於いて、短期集中的に病院施設の大規模改修工事を実施することにより、建物や設備機器の長寿命化とコスト削減を図ります。

修 繕 内 容	金 額
非常用発電設備パワーモジュール等改良	73,524 千円
無停電・直流電源設備改良	99,990 千円

#### ② 施設の省エネルギー対策

千歳市エコアクションプランの数値目標の達成に向け、継続して施設の省エネルギー対策を進めます。

修 繕 内 容	金 額
ポンプ等熱源機器類改良 冷暖房設備改良 ・冷暖房設備に使用する熱源ポンプや冷温水ポンプ等熱源機器類を高効率型や省エネ型等に更新することで電気使用量を削減。	110,946 千円
空調機用外気制御システム導入 ・外気導入量をCO <sub>2</sub> 制御することにより、冷暖房負荷を低減し、省エネを図る。	3,630 千円